

具体的手法の検証

■趣旨説明

（目的）趣旨説明では、本例会全体の流れと行う理由などを説明することで、今後の学びを深めることを目的とします。

本例会では青年会議所で得られた貴重な経験や学びなどについて、これまでに青年会議所活動を経験された先輩からお話を伺います。様々な経験や達成された目的を聞くことで現役会員や对外参加者の方々の今後の活動、社業への意識や資質の向上を図っていただきます。

また研修生、对外参加の方々に対しては、実際に青年会議所で活動できる無限の可能性について考えていただき、グループを作って委員会活動で得られる人生経験や社会貢献への挑戦に関して実感していただきます。

（検証）本例会の内容について説明し、例会内で伝えたいことの大枠を理解していただくことができた。特に对外参加者の方についてはまだ何も知らない青年会議所についてを説明するにあたり、本例会がなぜ行われているのかというところを認識いただくことができ、興味を抱きながら参加する姿勢が作れたと推測できる。

■四日市青年会議所プロモーション

（目的）青年会議所に所属してきた世界や日本の著名人をご紹介します。

青年会議所の成り立ちから現在までの軌跡を描いたプロモーション動画を視聴いただき、その中でこれまでの礎を築いてこられた各界の著名人を紹介していきます。青年会議所活動で得られた経験がその後の活動の糧になっている方を中心に紹介をさせていただきます。そして、実際に四日市青年会議所を卒業された先輩の著名人として四日市市長の森智広先輩と以下の内容について対談した動画を流します。

- ① 青年会議所を選んだ理由（入会理由）
- ② 当時のイメージと入会後に感じた四日市青年会議所のイメージ
- ③ 四日市青年会議所で活動して、なりたかった理想像とは
- ④ 四日市青年会議所に在籍して成し遂げられたことは
- ⑤ 四日市青年会議所に期待していることは

上記の対談動画を視聴していただき、青年会議所を活用することで成長できた、リアルな体験や、社会、地域に貢献できたことなどを知って例会参加者全員に青年会議所を通じて成長した自分自身のイメージをしていただきます。

对外参加者の方々には、青年会議所にはたくさんの著名人が在籍していたこと、同じ理念のもと現在も活動を続けていることでインパクトを与え、青年会議所が成長の機会に溢れていることを認識していただくきっかけにします。

(検証) 映像に青年会議所の成り立ちから現在までを描き、参加者全員に視聴していただくことで記憶に残りやすく、且つ青年会議所というものを深く理解していただけた。

青年会議所の歴史や所属していた著名人の紹介にはインパクトがあり、特に對外参加者の方から関心を寄せられた。

四日市市長 森智広先輩のインタビューに関して、身近な著名人ということで対内、對外ともに関心をもって視聴する姿が見られ、内容についても実際に経験した青年会議所活動に触れることで視聴者の青年会議所への理會と意欲を深めることができた。

■委員会発表

(目的) 青年会議所 VTR で知ることができた活動に対する新たな可能性について発表します。対内参加者については、これまでの青年会議所活動で成し遂げたことはどれだけあるか、そして自身の描く理想像にどれだけ近づけているかを明確にさせていただきます。

對外参加者については、四日市青年会議所活動から得られる成長や可能性を理解していただき、青年会議所の同志となり活動していくことが地域の発展、自身の社業の発展にもつながることを知り自分自身に落とし込んでいただきます。

(検証) 視聴している映像についての深堀を説明することでより現実的な青年会議所活動をイメージさせることができた。映像では説明されなかった年齢制限や、四日市青年会議所内での活動を委員会ごとに発表したことで実際に活動している視聴者各々のイメージや展望を落とし込んでいただけたと推測できる。

ただし、自己の成長や社業の発展にどうつながるかについては對外参加者の方からは少しイメージがしにくい意見もあり、改善の余地は残る。

■Future of 青年会議所

グループをつくり、各グループを架空の委員会と見立てて事業の立案シミュレーションをしていただきます。(以下、委員会と表記します)) 各委員会で入会歴2年未満の会員から委員長役を1名、副委員長役を2名設定していただき、事業の計画を立てていただきます。(副委員長役は研修生も可とします)

事業計画を立てるための条件(委員会名、予算、会場など)は事前に設定を決めておき、ミッション(目的)を達成するための事業計画を練っていただきます。

事業計画の実現に向けて委員会内で議論を繰り広げていただくことで青年会議所がどのようなことを日々行い、自己成長、地域貢献のために活動しているのかを体感していただきます。

なお、背景目的については、経験の深い会員と共に設定をし、自身が思い描いたことが実際に青年会議所を活用すれば実現できるのかを体験していただくように進めてまいります。従って多くの経験や理事をされてきたメンバーにおいては、自由な発想を手助けする、引き出すような役回りをしていただきそこで学びを得ていただければと思います。

以上から研修生と對外参加者の方については、実際に事業を計画していく過程を体感していた

だくことで青年会議所に所属したときの活動イメージや成長の機会が多くあると実感し、入会意欲を高めていただくことができます。

(検証) グループワークへの積極的な参加姿勢が各グループの全員に見られたことがとてもよかった。委員会内でリハーサルを行っていた時よりもさらい意見が飛び交い、対外参加者の方からも活発な意見が出ていた。

しかし、青年会議所で重要としている「背景、目的」の部分に重きを置かない計画をつくるワークであったため、現役メンバーからは学びが少なかったのではないかという意見も出ている。一方で対外参加者がJCメンバーから孤立せず、積極的参加できていたのも事実あるので、対外向けの例会に際して相対的に考えて計画していくことが重要であるとする。

■委員会まとめ

会員が青年会議所活動で得られたことについてまとめをさせていただきます。

青年会議所は「明るい豊かな社会の実現」に向けて活動を続けるために日々資質向上に努め、様々な機会を掴み、挑戦できる組織であることを伝えます。

現状に満足せず、新たな青年たちの参入により組織はよりよく進化することを学び、自己研鑽(資質向上)に関して自分自身も大きく成長できる場であることを理解していただきます。

(検証) 例会全体のおさらいとまとめを行い、四日市青年会議所とはどのような団体であるのかを伝えることができた。挑戦という一步を踏み出すことで自身の成長やまちの未来は変えることができるということを認識していただけるとともに、対外参加者の方については青年会議所への入会促進となったと推測できる。

■拡大褒賞アワード

会員拡大に対する意識を高く持ち、四日市青年会議所の魅力を広く発信した会員への称賛を拡大実績に応じて四日市青年会議所 拡大褒賞結果を発表します。時期については 2024 年 10 月～2025 年 9 月までのポイント制でアワードの発表を行います。発表については会全体からの称賛を受ける意味で、会を代表する理事長より各部門(個人部門と委員会部門)それぞれを褒賞していただきます。なお、拡大褒賞アワードのポイントに関しては例会 1 週間前に再度全メンバーへポイントの内訳を含め確認いたします。

本アワードの発表では受賞者から、青年会議所を入会者の方へ紹介するうえで青年会議所の魅力はどんなところであったか、意識して資質向上を行い、より効果的に活動できたことはなにかを発表していただきます。発表について一問一答形式で行います。

(対外参加者の方々に会員拡大褒賞について誤解が生まれないように質問事項はあらかじめ決めておきます)

(検証) 拡大活動においての称賛の場を設けることで、一人ひとりのモチベーションが上がり、それは次年度以降も継続することで上げ続けられるものと推測できた。

運営側についてですが、受賞者への事前連絡を怠ってしまい、発表時に困惑させてしまった一コ

マがあったので今後同様の催しを企画する場合には是正する必要がある。